

事業中間報告書（11月30日時点）

コース	☐ 自主事業コース ☐ 協働市民提案コース ☒ 協働行政提案コース
事業名	体験型離乳食教室「まんま教室」～あかちゃんから大人まで～
団体名	子育てひろば はなっこ
担当課	倉敷市保健所 健康づくり課

1 事業の概要

事業計画書（様式第2号）に記載した「4 計画の概要と対象者」を転記してください。

乳幼児を持つ親世代に対し、①真備・倉敷市内の子育て支援拠点と連携し、体験型の簡単に作れる離乳食教室を開催し、顔の見える関係づくりと食生活の向上を目指す。②大学との連携で、託児ボランティアに入ってもらふことや大学生に離乳食づくりの（調理の基本の体験）教室を開催することで若い世代に向けた食育の啓発を狙う。

2 アウトプット（直接の結果）の達成状況

事業計画書（様式第2号）に記載した「5 アウトプット（直接の結果）」の「指標」及び「事業実施後の数値目標」を転記し、11月30日時点の達成状況を数値で記入してください。

指標（転記）	事業実施後の 数値目標 （転記）	11月30 日時点の達成 状況
①体験型離乳食教室開催場所	真備地区1ヶ所、 倉敷地区1ヶ所	真備地区1ヶ所 中止
②体験型離乳食教室開催回数	2回	1回
③保護者が受講後継続して離乳食を調理している割合	8割	中止
④保護者が食への関心が高まったと思っている人の割合	8割	中止
⑤大学生に対しての料理教室開催回数	1回	1回
⑥大学生が受講後継続して調理している割合	8割	実施中
⑦大学生が朝食を食べている人の割合	8割	実施中
⑧反省会を含めた交流会の開催	1回	2月実施予定

※はなっこのスタッフのほとんどが7月の豪雨で被災したため、8月に実施予定だった⑤を延期し、11月に実施したが、10月に開催予定だった①の倉敷地区は実施できなかった。また、①の真備地区では後追いアンケートを実施する予定であったが、代表者が被災したことで真備地区からの参加者が多く状況がつかめなかったため、中止した。⑤を延期し開催時期をずらしたため、大学の実習などと重なったため学生の参加が少なかった。

3 事業の課題と改善策

事業を実施する中で見えてきた課題と、今後の改善策を記入してください。

- ・真備地区の親子のための体験型離乳食教室では父親同士の交流を試みたが、父親が打ち解けるためには時間がかかることが分かった。今後は、複数回参加でき、父親が「また来たい」と思えるような工夫を考えていきたい。
- ・学生のための料理教室では、7月の開催時期を変更したため参加者が集まりづらかった。職位の高い先生が窓口であるため、打ち合わせ等の日程調整がしづらい状況である。料理教室に参加した先生を中心に学生との調整をしていただける先生を探していく。
- ・学生のための料理教室では、学生は調理の経験が浅い人も多く、手本を見せながら丁寧に教える必要があったため、その後の意見交換の時間が短くなってしまった。今後学生（若い世代）を対象にする際は、調理経験も考慮して献立や体験内容を検討するようにする。

4 事業実施記録

実施した事業の詳細を記入してください。

実施内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の人数
真備地区の親子のための体験型離乳食教室	6月17日（日） 9:30～12:00	まびいきいきプラザ	スタッフ9名 地域子育て支援拠点2名 学生7名 行政5名	参加者14組 （40名）
学生のための料理教室	11月4日（日） 10:00～12:35	くらしき健康福祉プラザ	スタッフ9名 行政4名	参加者9名 学生5名 先生2名 学生の家族2名